

2012年9月15日（土曜）

## 日向山（1660m）

レポート by 熊本

南アルプスの前衛で甲斐駒ヶ岳の麓に連なる「日向山（1660m）」を約10年ぶりに企画し、今回の参加は川島さん、布目さん、熊本の3名でした。



高尾 7:26 発普通・小淵沢行に乗るために、東京駅 6:07 の中央特快に乗るはずであったが、山手線の遅れでホーム到着した瞬間に発車してしまった。10秒の差で乗り過ごしてしまった。

しかたなく、新宿から 7:00 発のスーパーあざさ1号は 6:30 で追いかけることにした。だが、ホームでは既に長蛇の列。

6号車の自由席に乗り込んだが、座れるには程遠かった。八王子では乗車出来ない人を2/3位を積み残すほどの込み具合であった。

また 7:03 の臨時特急は全席指定でこれもとっくに完売とのこと。

大月まで立席で1時間我慢。超満員のため、途中検札はなく大月で下車したため、特急券は払わなかった。

大月で高尾 7:26 発の普通に乗る(8:16)。目の前に川島さんと布目さんがいた。



青天井であったが、山頂付近には雲が多く、鳳凰山、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳は中腹より下方しか姿を見せていない。富士山も雲の中だった。

写真は茅ヶ岳が、かろうじて姿を現していた



9:59 に日野春に到着。

予約しておいた北杜タクシーに乗り、日向山登山口の矢立石まで行く。

今日は多くの車が入って、駐車場は満杯で路肩に駐車しているため、タクシーはUターンが出来ないので、かなり手前で降ろされ、登山口まで5、6分歩かされた。

10:35 登山口「矢立石（1105m）」で写真を撮って出発する。



登山道はナラ、シラビソに松や栗の木が混じって鬱蒼とした樹林帶の中にある。



標識の下に 10 – 1 と何号目の記があり、10 分ほどで一合目である。



ブナ、ミズナラの樹林帯を歩く。



何？キク



カラマツソウ



ウゴアザミ？



キケマン？



フシグロセンノウ



30分ほど登るとやや展望が開けたところに出て、一回目の休憩。  
風がなく、熱くて全身が汗びっしょり。  
手製のトマト寒天をいただく、酸味があつて旨い(11:10)。



徐々に勾配がきつくなり、額から汗が滴り落ちる。



2歳の子供を負ぶって降りてきたお母さん。最初は歩いて登っていたそうだ。



11:45 位に晴れて明るいのに通り雨が  
パラつき、念のためザックカバーのみ  
を着け、暑いので雨具は着ないで登  
る。



やはり殆ど雨は降らずに止んだ。  
今度は幼稚園児を連れて登るお父さ  
ん。



12:5 にアメダス観測点（1640m）に  
到着。山頂まではもう直ぐだ。  
計画より 15 分ほど遅れている。



アメダス観測点から 5 分登って向かって右上に山頂がある。矢印は「三角点」と書いてあるのみ。

三等三角点がある日向山山頂には標識もなく、展望もなく訪れる人も少ないそうだ。

今はこの場所を山頂としてないらしい？



2003 年 8 月 2 日には標識があった。

標識の下に三角点があった。

約 10 年で様変わりした。



三角点（眞の山頂）から少し下って 5 分歩くと、突然視界が開け、白砂の絶景に感激！

常緑樹の緑を背景に海岸を思わせる白砂のコントラストが実に印象的。



花崗岩が風化し大地から岩の角が生えたようにニョキニョキと天に向かってのびている。



谷底は深く切れ込んでおりあまり、近くと滑って吸い込まれそうだ。





右端のギリギリまで行くと高山植物  
が多種咲き誇っている。



オオビランジ



イカリソウ



ホタルブクロ



ヤマハハコ



オオビランジ





昼は布目さんが自宅から重い思いで担ぎ上げたソウメン、テンプラ、ナス焼きなどでソウメンパーティーとなつた。



この絶景を見ながらのソウメンが実に旨い。



日向山（1660m）の標識があるが、この「雁が原」は1660mより低い。先程の三角点が眞の1660mの山頂。この標識で記念写真を撮り下山に向かう。



下山は「錦滝」まで下り、登り口の矢立石に戻る周回ルートである



左端の岩峰に向かう。





岩峰によじ登る。



岩峰の先端に出て万歳一！



ご満悦の二人。



ここから錦滙への下りになる。



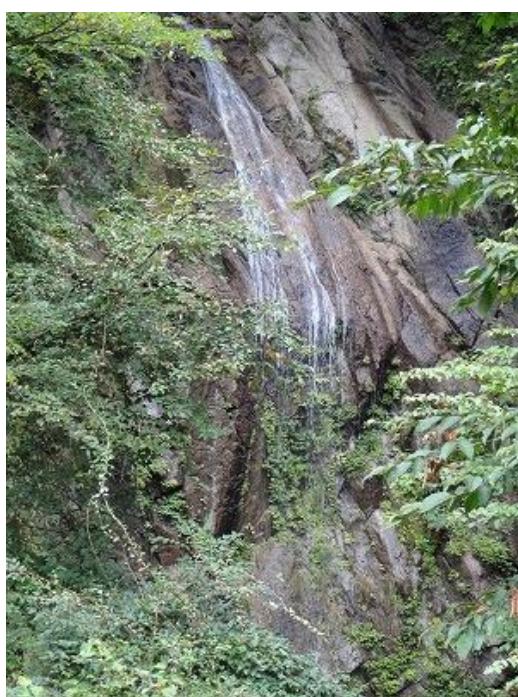
アキノキリンソウ



尾白川渓谷への谷は切れ込んでいて  
下りのルートは急な下りの連続。



ほぼ垂直に近い鉄階段。



14:05 に「錦滝」に到着。  
予定よりも 50 分遅れ。  
雁が原で遅れを予想して迎えのタク  
シーに連絡を入れておいて良かった。



急下りの連続が終わり一安心で、休憩を入れる。



錦滝（1150m）から矢立石（1105m）は約40分の林道であるが、途中の道路は山崩れや花崗岩石の崩れ、地盤沈下などでとても車の入れる状態ではない。



イチゴ



ツリフネソウ



ミズヒキ



錦滝から 30 分ほど歩くと前方に街並みが見えてきて矢立石が近づいたことを感じる。



このゲートを出て 5 分ほど歩くと、登山口の矢立石であった。  
15:15 に予約してあったタクシーに乗り、日帰り温泉「むかわの湯」に向かう。



15:30 に「むかわの湯」の到着。

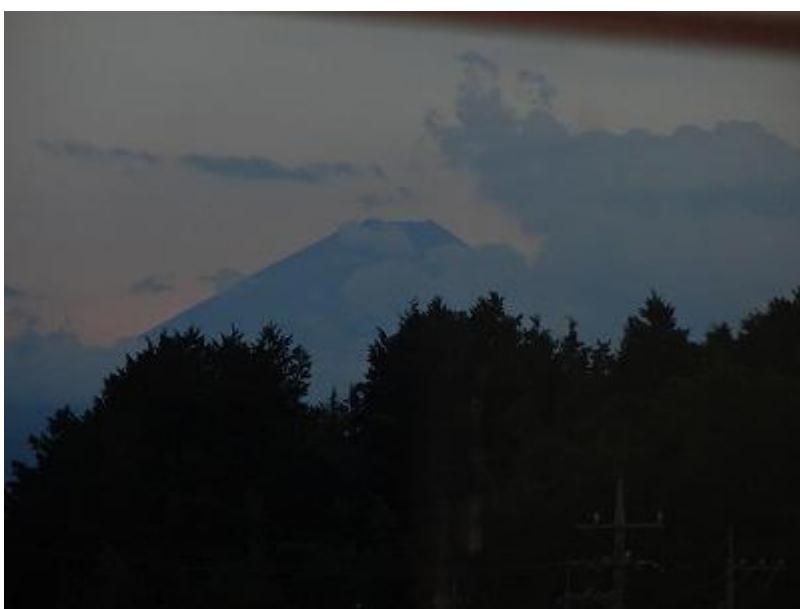


露天風呂、サウナを含め 5 種類の浴槽があり、順番に入り、大汗を綺麗サッパリ流して、缶ビールで乾杯！  
約 1 時間 30 分、ユックリ入浴休憩する。



日野春 17:31 発の普通で甲府に向かう。

布目さんは、山には一過言持つ、おじさんと山談義。



行程中は見られなかった富士山が列車から夕焼けの浮かぶ姿を見れた

風化した花崗岩の奇峰、岩峰と常緑樹の緑を背景に海岸を思わせる白砂のコントラストが実に印象的な日向山でした。